

リーディングプロジェクト

基本方針に基づき、令和14(2032)年に向けた将来像を実現するため、本市として重視する「子ども」・「共生社会」・「まちなか」の3テーマを基本方針に関連させ、「リーディングプロジェクト」と位置づけて取り組んでいきます。

文化芸術を **そだてる**

子どもと未来プロジェクト

本市の文化芸術を振興していくためには、次の時代の文化芸術の担い手である子どもたちを育てていくことが重要です。学校や地域など、様々なところで子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出することで、子どもたちが自己表現力や自己肯定感を身に付けるとともに、心の豊かさにつながっていきます。

文化芸術を **つなげる**

文化芸術による共生社会プロジェクト

文化芸術を観光やまちづくり、国際交流、多文化共生、福祉、教育、産業その他分野へとつなげていくことで、文化芸術が持つ社会的価値を通じて相互理解が促進され、年齢や障がいの有無、子どもの有無や国籍、経済的な状況又は居住する地域等にかかわらず、誰もが住みやすい社会の実現をめざします。

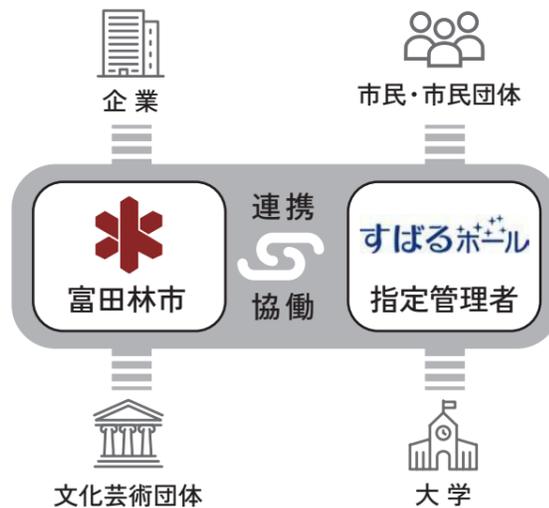
文化芸術に **ふれる**

まちかどアートプロジェクト

すばるホールや公民館といった公共施設だけでなく、市内各所で文化芸術に触れられる機会の創出に取り組むことで、文化芸術に関心を持つ市民が増えるものと考えられます。これにより、文化芸術を鑑賞・参加・体験する市民が増えるとともに、文化芸術を通じて市民の心の豊かさや生きる力を育んでいきます。

ビジョンの推進に向けて

すばるホールを拠点に文化芸術事業を実施する指定管理者と本市が連携・協働しながら、本ビジョンを推進します。また、本市内で活動する文化芸術団体や大学、企業、市民団体等と連携・協働し、一体となって本ビジョンの推進に取り組みます。



評価体制

本ビジョンの評価にあたっては、策定委員会を引き続き開催し、年1回程度、施策・取り組みの進捗状況を検討し、PDCAサイクルに基づき評価を行います。また、必要に応じて5年経過時にビジョンの見直しを行います。

富田林市文化振興基金等の活用

文化芸術教室への支援や学校へのアウトリーチ活動の支援等に取り組むこととしており、こうした多様な施策・事業の財源として、富田林市文化振興基金を有効に活用していきます。

庁内体制の検討

本ビジョンを推進していくため、文化芸術振興に取り組む部署の新設等を検討していきます。また、文化芸術の社会的広がりに取り組むため、教育や観光、文化財、まちづくり等の庁内関係部署との連携・協働にも取り組めます。

富田林市文化芸術

振興ビジョン **概要版**



計画期間：令和5(2023)年度から
令和14(2032)年度までの10年間

本市では、市民の皆さんにあらためて文化芸術の大切さを理解していただくために、富田林ミュージアム構想を推進しています。未来を担う子どもたちは、「シャワーのように文化芸術」を体験し感受性を伸ばすことで、文化芸術格差をなくし、高齢者や障がい者、外国人やLGBTQなどの生き辛さを感じている人など、誰もが生きやすい共生社会、人と人との暖かい結びつきによるコミュニティが広がっていくことをめざして、本市の文化芸術を振興していきます。

令和5(2023)年6月
富田林市

文化芸術の大木をたくさん育てましょう

文化芸術を、何百年も成長を続ける「くすのき」にたとえてみました。

そんな「くすのき」も最初は苗木です。

本市では、文化芸術の大木をたくさん育てていきます。

光

成長には常に「光」が必要です。「光」は「学校教育」や「アウトリーチ事業」をイメージしています。

苗木

「苗木」は、子ども・若者をイメージしています。

耕す人(守り人)

「土」には、耕す人が必要です。耕す人(守り人)は、「行政」「アーティスト」「文化芸術団体」「公民館クラブ」などが担います。

土

文化芸術を育てる土台となる「土」は、すばるホールや公民館、公共施設、街中で文化芸術に触れることができる環境などの、文化芸術資源をイメージしています。

水・肥料

「土」に必要な「水」や「肥料」は、「土」を耕す人が与えます。「水」は、新規事業の「文化芸術鑑賞会」、「肥料」は「育成スタート事業」をイメージしています。



視点 1



富田林市の文化芸術が大きく
育っています

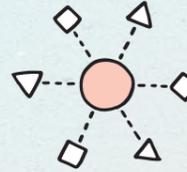
文化芸術をそだてる

文化芸術を振興していくためには、次世代を担う子どもの文化芸術活動が重要です。文化振興基金や民間資金の導入を検討し、すばるホールや公民館等を活用しながら、これからの文化芸術の担い手を育てていくことをめざします。

主な施策・取り組み

- 子どもたちの文化芸術へのふれあいを支援する
- 子どもたちの文化芸術との出会いを支援する

視点 2



富田林市の文化芸術が
他の分野に
つながっています

文化芸術をつなげる

文化芸術を媒介として文化芸術団体同士や学校、企業をつなげたり、観光や国際交流、多文化共生、福祉や教育等の他分野とつなげたりすることで、まちの魅力を高めることをめざします。

主な施策・取り組み

- 文化芸術活動の企画・調整に取り組む体制の強化
- 文化芸術を媒介としたアウトリーチの展開
- 学校や企業も含めた協働の取り組みの実施
- 文化芸術の社会的広がりをバックアップ
- 誰でも文化芸術に触れられる「心のバリアフリー」を

視点 3



文化芸術に触れる喜びを
多くの市民が
享受しています

文化芸術にふれる

市民誰もがそれぞれのライフステージにおいて、鑑賞・体験するきっかけとなる情報を収集でき、文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出することで、「生きる力」や「自己肯定感」を高め、市民の幸福度の高い、誰一人取り残さない社会をめざします。

主な施策・取り組み

- 鑑賞・体験する機会の充実
- 文化芸術にふれる「はじめの一步」のお手伝い
- 多様な情報の収集・発信